

# 今春の中小企業の昇給は 平均 4,651円 (1.83%) 前年比減

## 経団連の2016年中小企業賃上げ調査 最終集計結果は 前年比減

日本経団連より「2016年春季労使交渉・中小企業業種別妥結結果」の最終集計(2016年8月12日現在)が公表されました。これによると、今春の中小企業の昇給は総平均で 4,651円(1.83%アップ) となり、前年の4,702円(1.87%アップ)と比較すると減少となっており、4年ぶりに減少しています。今回の中小企業賃上げ調査について、まとめましたのでご覧ください。

※ 詳しくは浅山社会保険労務士事務所まで

本調査の対象は、原則として従業員数500人未満、17業種、741社で、今回の最終集計は妥結し、金額が判明している企業458社の結果を集計したものです。今春の中小企業の昇給は、右図のようになっています。

総平均で4,651円(1.83%アップ)となり、前年の4,702円(1.87%アップ)と比較すると、減少しています。

業種別にみると、製造業は4,964円(1.90%アップ)、非製造業は4,097円(1.68%アップ)となっています。

(全17業種は、別紙参照)



また、従業員規模別では、左図のようになっています。

100人未満で4,260円(1.71%アップ)となり、前年の4,067円(1.69%)と比較すると、増加しています。

【2016年】		
	100人未満	4,260円(1.71%)
	100人～300人未満	4,502円(1.79%)
	300人以上	4,899円(1.89%)
【2015年】		
	100人未満	4,067円(1.69%)
	100人～300人未満	4,591円(1.84%)
	300人以上	4,989円(1.94%)

## 今春入社の新入社員の初任給 大卒 210,313円 高卒 164,894円

労務行政研究所より「2016年度 新入社員の初任給調査」の結果(2016年4月25日現在)が公表されました。この調査は4月6日までにデータの得られた東証第1部上場企業227社を対象に行ったものです。

これによれば2016年4月入社の初任給を引き上げた企業は33.9%、66.1%が据え置きとなっており、昨年の据え置き率58.7%と比較すると増加しています。

一方、初任給額をみると、職種やコースによる格差がなく、一律に初任給を決定している企業の場合、大学卒は210,313円、高校卒は164,894円となっています。いずれの学歴区分でも対前年増減率は1%未満の増加率で、全体的な水準としては「据え置き」が6割台を占めています。